

西教様式 05s

西日本スノーボード技術選手権大会 申込書

提出日 年 月 日 (西暦で記入)

大会参加に関しては、損害事故防止に十分注意するとともに、万が一私が原因で発生した事故に対して、すべて私の責任において処理することを承諾の上、参加を申し込みます。

会場名	女鹿平温泉 めがひら スキー場		
*受付日	年 月 日	*参加料	領収 ・ 未収

フリガナ 氏名			性別	男 ・ 女
生年月日	年 月 日	日生	満年齢	才
加盟団体			所属団体	
SAJ会員登録No.		スキー保険		保険No.
住所	〒			
自宅電話	- -			
勤務先名			所属部課名	
勤務先住所	〒			
勤務先電話	- -			

取得資格	・ 1 級	年 月 日	取得	主管県連 (取得会場)	(スキー場)
	・ 2 級	年 月 日	取得	主管県連 (取得会場)	(スキー場)
	・ 準指導員	年 月 日	取得	主管県連 (取得会場)	(スキー場)
	・ 指導員	年 月 日	取得	(取得会場)	(スキー場)

* 加盟団体記入欄	加盟団体名	
	会長氏名	
		印
	担当者	印

* : 個人で記入しない。

上記「個人情報」については、プログラム、行事運営及び事業報告書のみを使用することを同意します。

*様式のセルを連結させるなど独自に改造しないで下さい。

西日本スノーボード技術選手権大会 競技規則

- 1 競技者は種目別スタート地点に集合し、スタート審判のコールを受け応答しなければならない。大会運営上、20人～30人集合しだい随時コールを開始する。
- 2 競技者は前者の出発後、直ちにスタート地点に移動し、出発のための準備をしなければならない。
- 3 競技者はスタート審判の合図により出発しなければならない。スタート合図はフラッグ、またはトランシーバーを利用する。
直ちに出发しない場合は該当種目を棄権とする。
- 4 競技コースの終点には停止ラインを設ける。ラインは2本のポールにより設定し、その区切りは色インク等により明示する。
- 5 競技は示された停止ラインを越え安全のために停止するものとする。
- 6 競技中止について。大転倒等で中止するときは×印で連絡する。
- 7 ヘルメットは安全上必ず着用する。
- 8 競技種目が必要とする斜面については、その条件を満たせる設定を行う。
- 9 競技各種目は、設定された条件や状況に適合した回転弧、スピードで行う。
- 10 審判は3審3採用によって行う。
- 11 競技斜面のインスペクション・整備については競技本部の指示に従い行う。
選手のみとする。ビブを着用の事。
- 12 抗議は、当該選手本人とし、ゴール後ただちに審判長に申し出ること。
- 13 競技会場の積雪状況により競技会場・競技コート・種目変更の可能性も有り得る。